小学６年生を対象に実施　　令和８年　北日野小学校

北日野っ子の学力と学習の様子

～『令和８年度 全国学力・学習状況調査』結果から～

国語、算数の調査が行われました。「各教科の平均正答率」については、全国や福井県と比較して「◎平均以上、○同程度、▽平均以下」と表しています。

☆国語について（◎は良いところ　▲は伸ばしたいところ）

【国語の平均正答率】

福井県	◎
全国	◎
全国	60.9%

①「学習指導要領の５内容における結果から」

◎５内容のすべてにおいて全国平均、県平均を上回り、特に「読むこと」ができています。

②「特に正答率の高かった問題」



◎話や文章の種類とその特徴について理解することがよくできています。
◎目的に応じて、必要な情報を見付けることがよくできています。

③「課題と改善」

▲「言葉の特徴や使い方」において、「学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う」問題に課題が多く見られました。漢字の読み書きだけでなく、漢字の意味と使い方を合わせた学習や漢字を使った短文作りの活動を通して、文の意味に応じた漢字の使い分けの指導を継続していきます。また、各学年の既習漢字の継続的な復習を行い、漢字を正しく活用する力の定着を目指します。ご家庭でも、家庭学習を見ていただくときに、正しい漢字を使っているか確認していただけるとありがたいです。

☆算数について（◎は良いところ　▲は伸ばしたいところ）

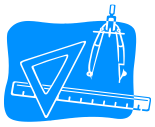
【算数の平均正答率】

福井県	◎
全国	◎
全国	56.4%

①「学習指導要領の５領域における結果から」

◎５領域のすべてにおいて全国平均、県平均を上回り、特に「図形」領域ができています。

②「特に正答率の高かった問題」



◎立方体の体積の計算による求め方についてよく理解しています。
◎示された情報を基に、数量の関係に着目して、条件に合う答えを求めることがよくできています。

③「課題と改善」

▲「変化と関係」領域において、「単位量当たりの大きさを求める除法の式の意味の理解」をみる問題に課題がありました。単位量当たりの大きさの学習では、「全体の量÷個数（人数・面積など）＝1 当たりの量」という式だけではなく、「異種の二つの量を公平に比べるために、1 当たりの量（単位）にそろえる」という意識を持たせることが大切です。そのために、図、具体的な生活場面、自分の言葉で説明する活動を組み合わせることで、除法の式の意味の理解を図ります。

★学習や生活について（◇よい傾向　◆心配な傾向）

《自分自身に関すること》

◇すべての児童が「人の役に立つ人間になりたい」と思っており、「将来の夢や目標を持っている」と回答しています。

◇ほとんどの児童が「自分には、よいところがある」「人が困っているときは、進んで助けている」と回答しています。

《家庭や地域に関すること》

◇ほとんどの児童が、「朝食を毎日食べる」「毎日、同じくらいの時刻に起きて、寝ている」と回答しています。

◇「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う」という児童の割合が高いです。

◆クラスの半数を超える児童が「普段（月曜日から金曜日）、１日当たり２時間以上、スマートフォンやタブレット等でSNSや動画視聴などをしている」と回答しました。また「普段、家庭での読書時間が３０分以下」と回答する児童も多く見られました。そこで、週末や毎週木曜日のノーゲームデーに合わせての「お家読書」「親子読書」をさらに推進し、家庭での読書の機会を増やしていくことで、メディアの使用時間の改善につなげていきます。

《学校に関すること》

◇すべての児童が「いじめは、どんな理由があってもいけないことだ」と思っています。

◇ほとんどの児童が「学校に行くのは楽しい」「友達関係に満足している」と感じています。

◇「授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる」と回答している児童が多いです。

◆「困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できない」と回答した児童がいました。「チーム学校」として、全職員で全校児童を見守り、寄り添う姿勢を大切にしながら、児童の様子に気を配り、声かけを行います。さらに、いじめアンケート（月１回）や教育相談の実施、スクールカウンセラーとの面談を計画的にすすめていきます。



学力面との関係で分析すると

◇「国語・算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」

◇「各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っている」

◇「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができている」

左の項目に当てはまる児童ほど正答率が高くなる傾向があります。